

減らせ突然死プロジェクト

共有型AEDマップシステムの構築を通じた 市民参加型救命プロジェクト

一般財団法人 日本AED財団

2018/10/10



突然の心停止とAED

心臓が止まる人

7万人

そのまま亡くなる人

65,000人

**1分経過
10%減る**

心肺蘇生とAEDで
救命率**4倍**

必要な事は

自分ゴト化 × 社会ゴト化

心臓突然死対策の重要性



平成23年9月29日、さいたま市の小学校6年生、桐田明日香さんが、駅伝の課外練習中に心停止となり、翌30日に亡くなった。

学校にはAEDが設置されていたにもかかわらず、使用されなかった

院外心停止の現状

- 病院外において、心臓が原因で突然の心停止に陥り、7万人を超える方が毎年亡くなっている

総務省消防庁 平成29年版 救急救助の現況

- 突然の心停止に陥った患者の救命には、**可及的速やかな心肺蘇生の実施とAEDによる電気ショックが有効**であり、それぞれが社会復帰の可能性を2倍に引き上げる

Iwami et al. Circulation 2015;132:415-22.

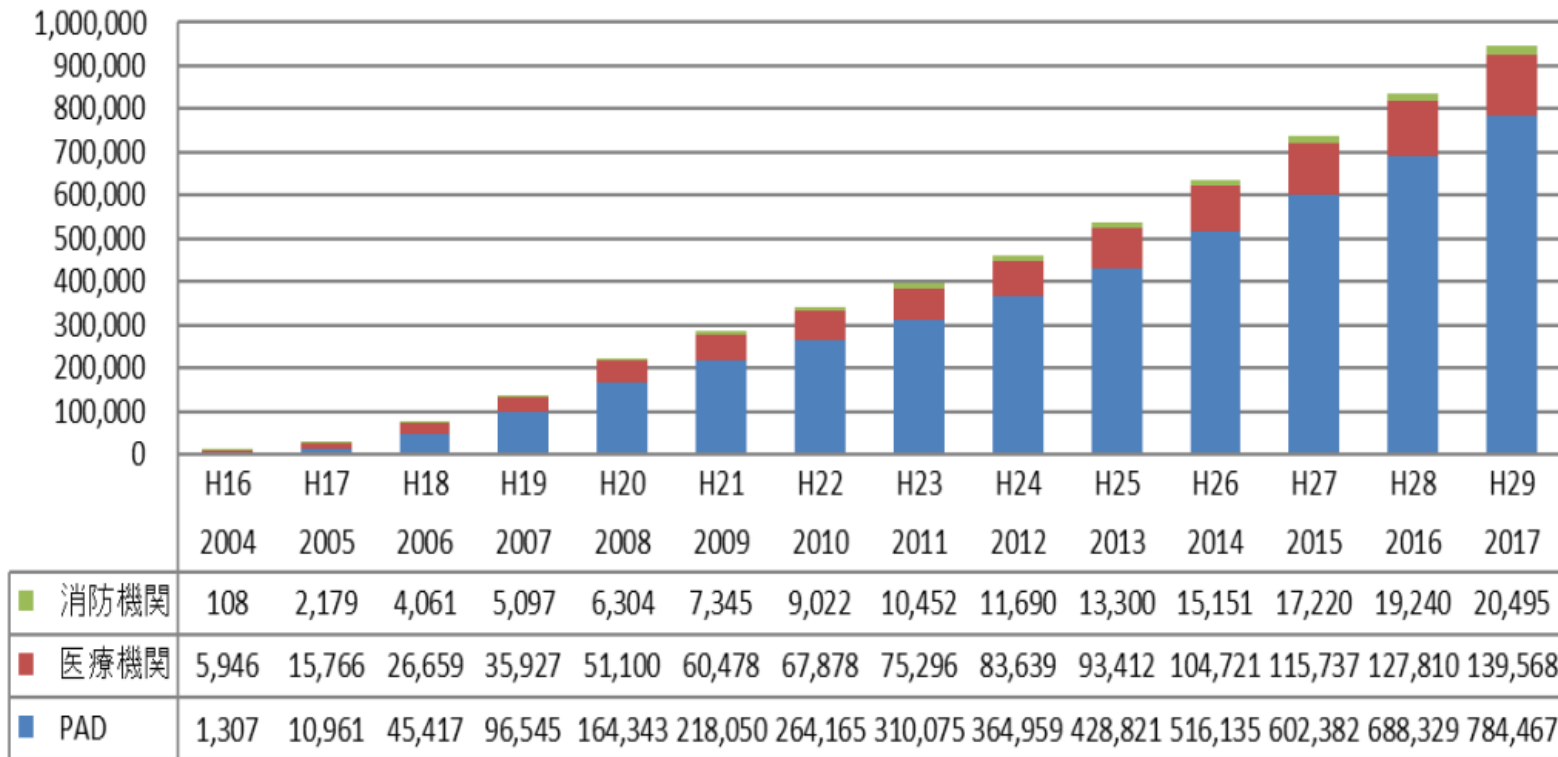
- 市民が心停止を目撃した症例においても、**約半数が救急隊到着まで心肺蘇生法が実施されていない。また、AEDによる電気ショックを受けているのは、5%未満**

総務省消防庁 平成29年版 救急救助の現況₄



AEDの普及状況

AED販売台数(累計)



AEDの販売台数は、累計78万台以上。各機材の耐用年数から、販売されてから破棄されるまでの平均期間を7年とすると、57万台が設置されていると推定。

出展) 平成 29 年度厚生労働科学研究費補助金 (循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業) 『市民による AED のさらなる使用促進と AED 関連情報の取扱いについての研究』 分担研究報告書

⇒普及は進んでいるため、どう活用していくかが課題に。

救急車到着前の救命処置の効果



病院での治療は、助かる人を1.1倍にするが・・・



× 2



× 2

心肺蘇生とAEDは、助かる人を4倍も増やす！

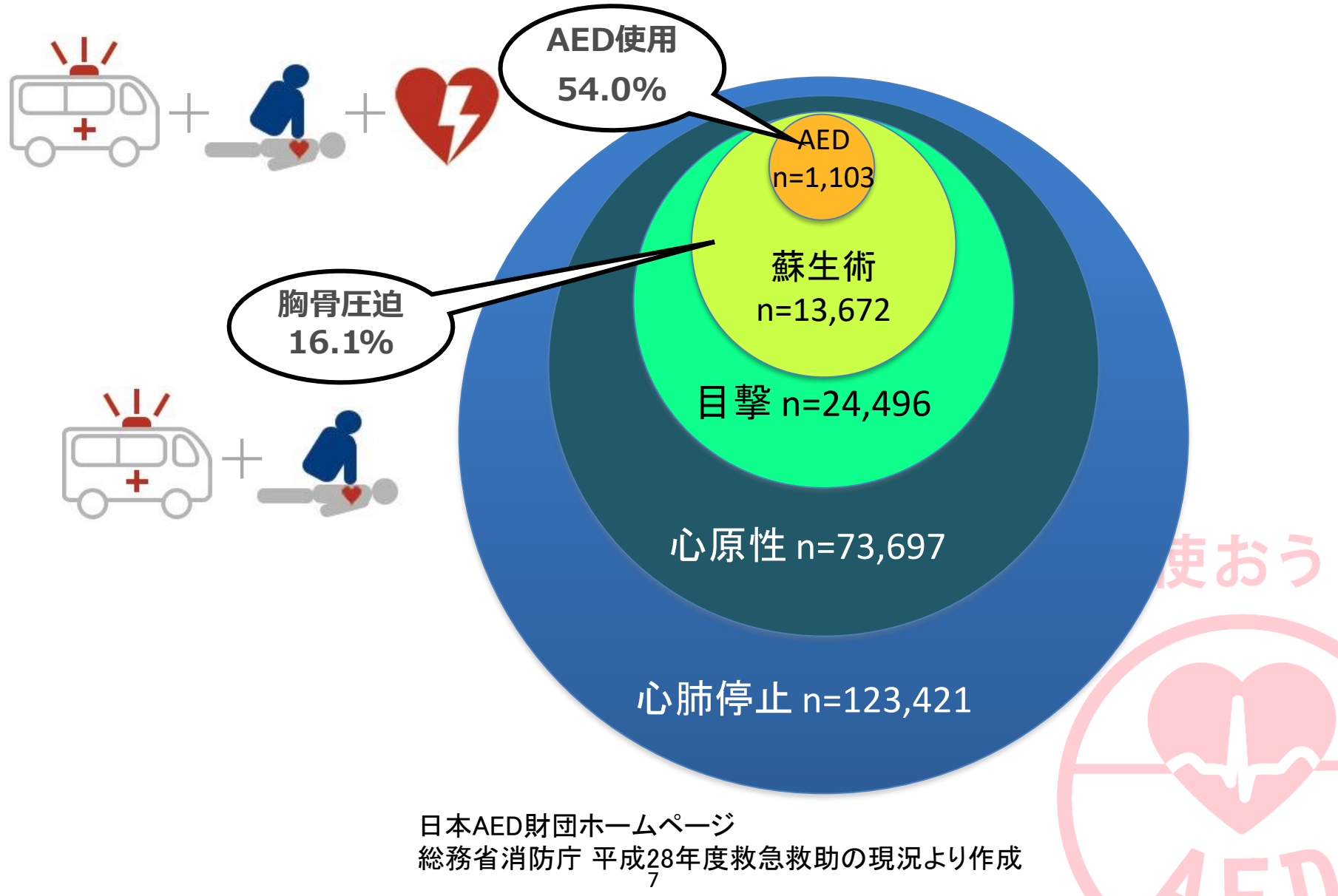


CPR（心肺蘇生）



AED（除細動器）

心停止現場にAEDと救助の手が届いてない



AEDを活用して救命率を高めるための課題

**AEDが時間内に
現場に届く
仕組みの構築**

**AEDを使った救
命処置ができる
人を増やす**



AEDを活かして更に多くの命を救うために

1. AEDが時間内に現場に届く仕組みの構築

- － AEDマップ（設置情報の公開）の質向上と活用
- － 「今使える」AEDの場所が万人にわかるように
- － 設置すべき場所には設置し、適切な管理を促すレギュレーション
- － ソーシャルメディアを活用した仕組み作り
- － 消防・指令室との連携

AEDを有効活用する仕組み

2. AEDを使った救命処置をできる人を増やす

- － 完璧でなくてもいいので行動を起こす重要性の啓発。社会的コンセンサス。
- － AEDを身近なものへ
- － 学校でのAED教育

社会啓発

AEDの設置情報の現状

- 日本には、AEDの配置に関するレギュレーションは存在せず、団体や個人が任意でAEDを購入、配備している。

⇒ **ほとんどの地域で、正確なAEDの設置情報は把握できておらず、その管理水準がまばら。標準規格の提唱による、管理水準の底上げが必要**

- AEDの配備状況を調査、提示している自治体は存在するが、その多くで情報の更新が止まっていたり、AEDの使用可能時間が記載されていないなど、整備が不十分。

⇒ **AEDの設置情報を正確に共有するための、安価で使いやすいプラットフォームが必要**

＼使おう



社会の理解の必要性

- 心肺蘇生の実施時に負担となる、周囲からのプレッシャーや、個人の負担感を軽減することも重要
- 実際の現場は混乱し、周囲の人々の力やAEDの音声など様々なサポートを受けつつ手技の実施から救命に至る。

⇒緊急時に市民が救命行為を行うことが、広く社会に認知されることが求められる。





突然誰かが倒れたときに・・・

市民が中心となって

『今使える』『近くの』AEDの情報を

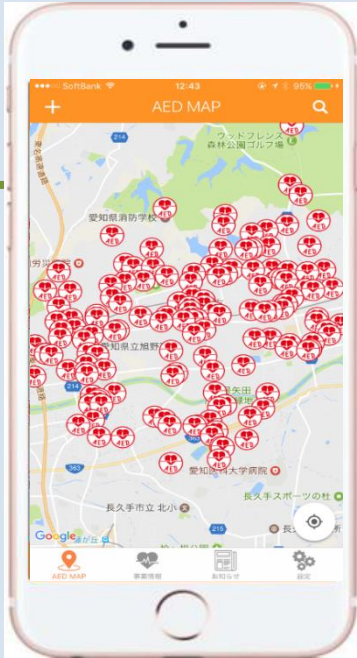
シェアする仕組み作り

プロジェクトの概要

今回の助成
で行う範囲

AEDマップ事業 (AED N@VI)

- AEDの正確な位置・使用可能情報
- スマホから情報をアップデート
- AED認証制度と連動



AEDの情報を多く提供したサポーターへ、ポイント付与や表彰等の特典



スマホで繋ぐ命のリレー



地域のAED



救命サポーター

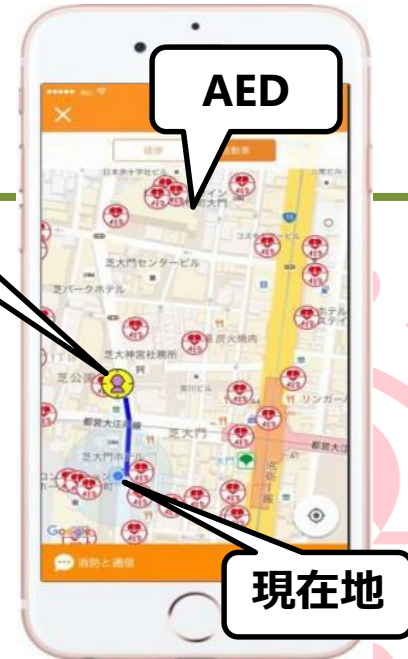
AED救命支援システム

心停止現場付近にいる登録ボランティアに、消防から救命要請。地図を見ながら心停止現場へAEDを運搬し、救命率の向上を目指す。

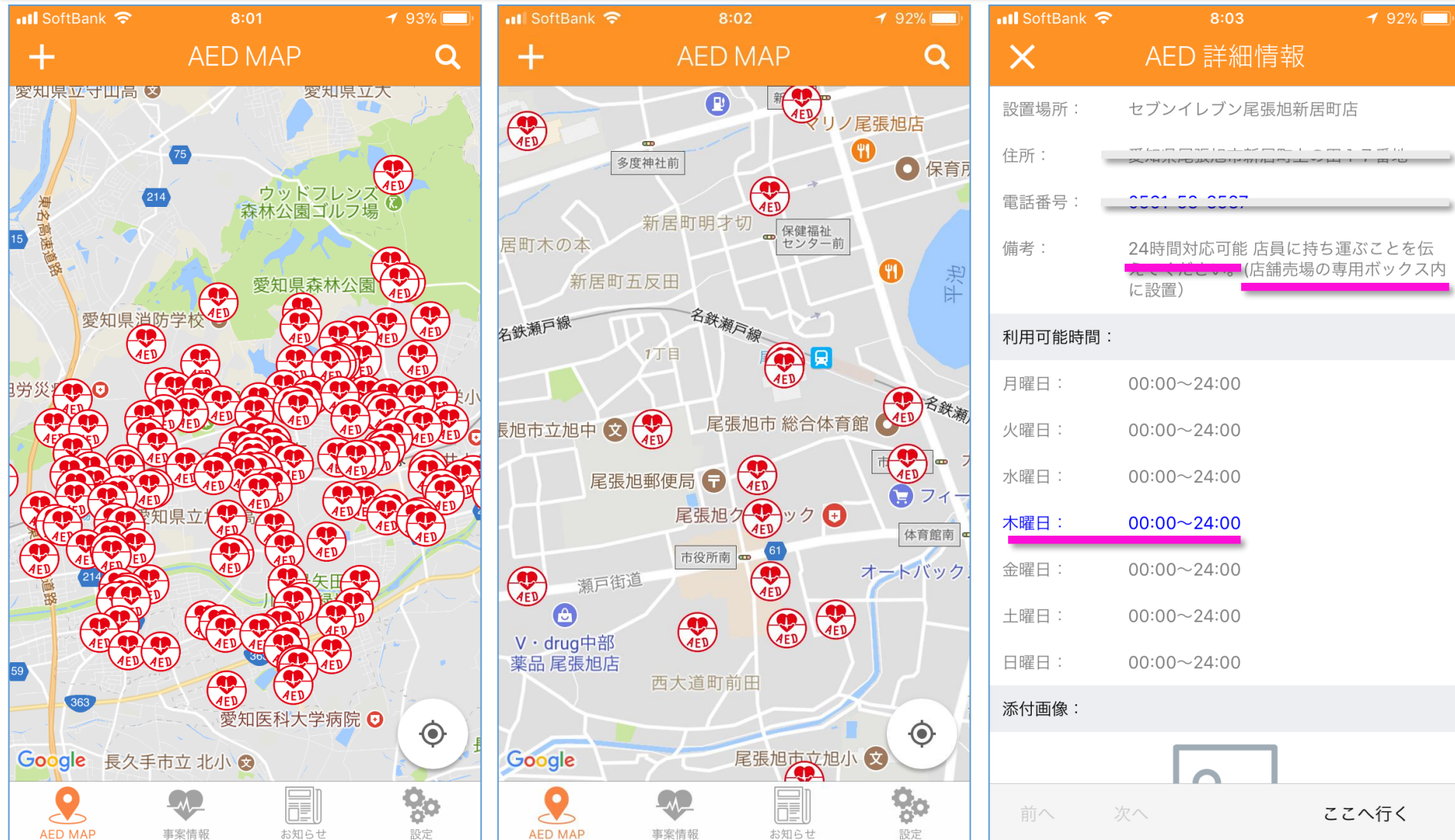
心停止
現場

AED

現在地



AEDマップの充実で実現するもの (ロールモデルエリアでのイメージ)

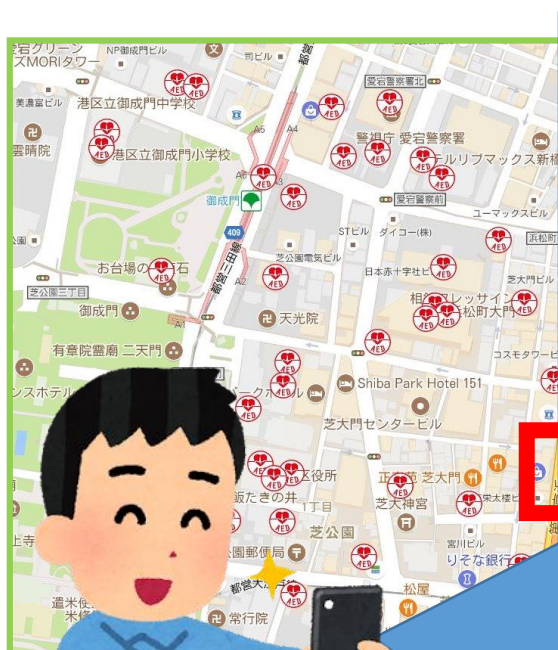


みんなで作る AED N@VI

①スマホでAEDの情報をUP



②皆で確認して
情報をアップデート

③正確なAED設置情報を
皆で共有



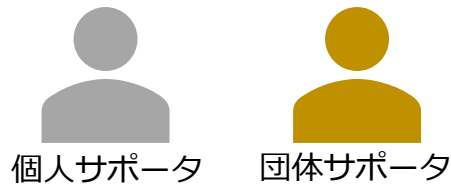
集約したAED設置情報は、HPを通じてオープンデータとして提供

AED N@VI サポーター区分

利用者区分	要件	アプリでできること
 個人サポーター	メールアドレスの登録	AEDマップの閲覧 AED情報の評価 AED情報の申請 マイページ閲覧
 団体サポーター	財団が認めた企業・団体の構成員。 将来的には、マイナンバーカード等による個人認証によって個人の参加も想定	AEDマップの閲覧 AED情報の評価 AED情報の申請 マイページ+α閲覧 申請されたAED情報の承認

AED Navi AED情報登録フロー 新規申請

新規登録



AED情報の申請

既存のAED設置情報も活用しつつ、AED N@VIに未登録のAEDを発見し、情報登録申請を実施する。

AEDの新規登録

施設名 ※必須
〇〇小学校 1F
残り39文字

設置位置 ※必須
松屋 芝大門
設置場所住所に送信

設置場所住所 ※必須
〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1
残り50文字

設置場所概要
2Fの玄関手前にあります
残り50文字

設置場所区分 ※必須

AED N@VI

dawn 様 全国2位

総保有ポイント 925ポイント
今日の獲得ポイント 22ポイント
現在申請中の件数 4件

※ポイント付与について
申請1件につき1ポイント付与します。
承認されるとさらに3ポイント付与します。

確認してほしいAED

#	所在地	距離
1	東京都港区芝大門 2丁目 1-16 芝大門MFビル	6m
2	東京都港区芝大門 2丁目 1 朝川ビル	13m
3	東京都大田区蒲田 5丁目 13-14 大田区役所	106m
4	東京都港区芝公園 4丁目 7 日比谷通り	369m

地図を起動



情報の承認

確認要請をもとに現場を確認。申請された情報が正しいければ承認する。

※申請者とは異なるサポータのみ承認可能。

AED Navi AED情報登録フロー 再評価

登録AEDの
再評価

システムからの
確認依頼

悪い評価の蓄積や、一定の時間経過で再確認要請を発信。

AED N@VI

dawn 様 全国2位

総保有ポイント	925ポイント
今月の獲得ポイント	22ポイント
現在申請中の件数	4件

※ポイント付与について
申請1件につき1ポイント付与します。
承認されるとさらに3ポイント付与します。

🔍 確認してほしいA E D

#	所在地	距離
1	東京都港区芝大門2丁目1-16 芝大門MFビル	6m
2	東京都港区芝大門2丁目1 朝川ビル	13m
3	東京都大田区蒲田5丁目13-14 大田区役所	106m
4	東京都港区芝公園4丁目7 日比谷通り	369m

地図を起動



団体サポーター

情報の承認

確認要請をもとに現場を確認。申請された情報が正しければ承認。

AED N@VIを基盤とした 市民参加型救命システム 将来イメージ

Social Network Servicesを活かす！

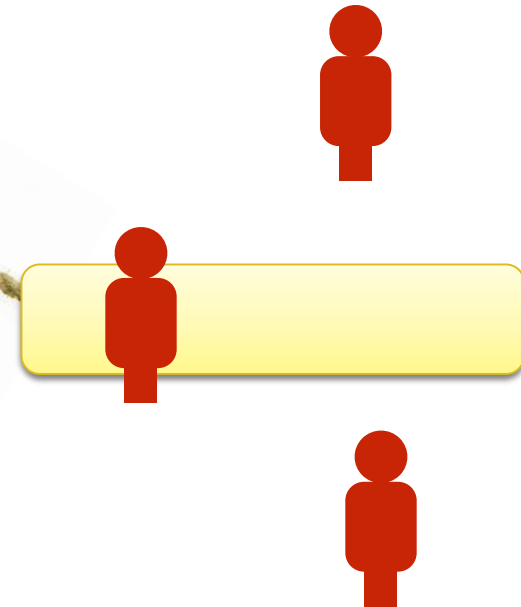


心停止発生現場

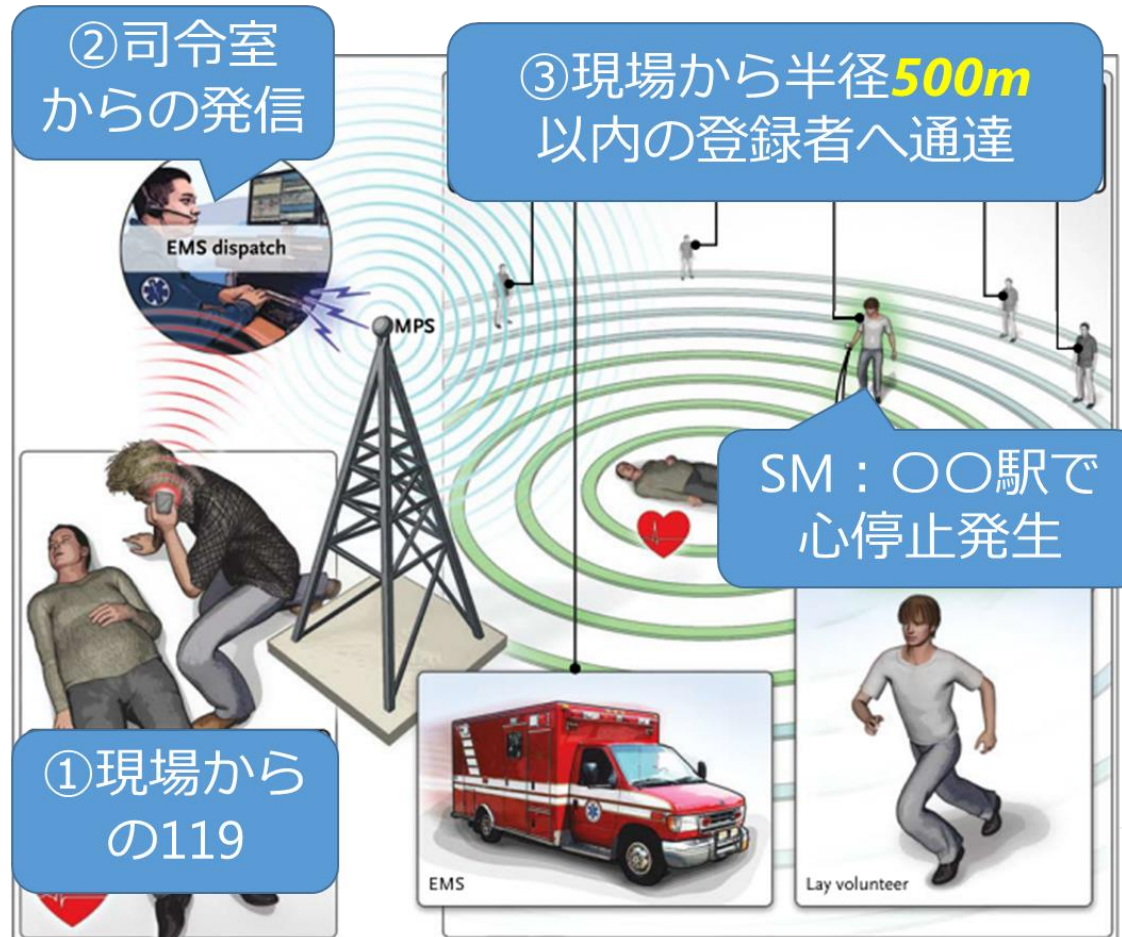
AED



AEDを使う意思と
技術を持った人たち

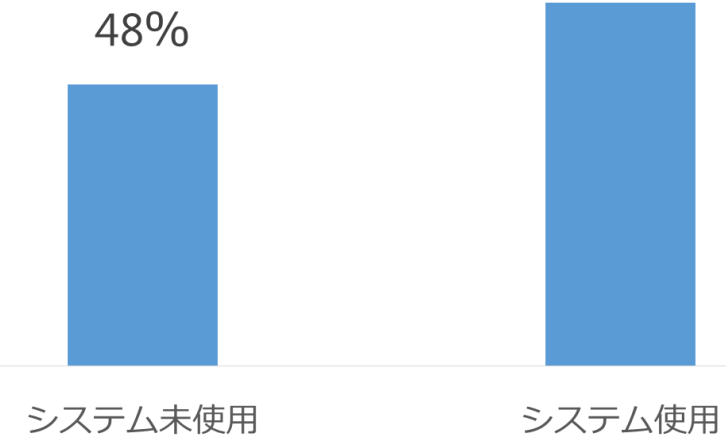


ソーシャルメディアテクノロジーの利用 スウェーデンの取り組み



(NEJM 2015;372:2316-25.)

バイスタンダーCPRの実施割合
62%



スマホを活用したAED救命体制



いつでも利用できるようにみなさまの身近なAEDを見つけてください。★印は、24時間利用できるAEDです。

《その他の公共施設のAED》

- A・・・森林公園(案内所)
- B・・・森林公園(運動施設)
- C・・・守山警察署尾張旭幹部交番

愛知県尾張旭市 コンビニにAEDを設置 地域の全てのAEDを把握 24時間大半の地域をAEDがカバーしている

※ 市営バス(あさび一号)にもAEDを積載しています。

～お知らせ～

この地図に示しているAEDは、誰でも使用できるAEDです。施設ごとに利用時間が異なりますので、詳しくは「尾張旭市AED設置登録施設詳細一覧」が尾張旭市ホームページ「地図検索」>AED設置場所でご確認ください。

【問合せ先】
尾張旭市消防本部総務課庶務係
0561-51-0860



消防本部(署)



消防団本部

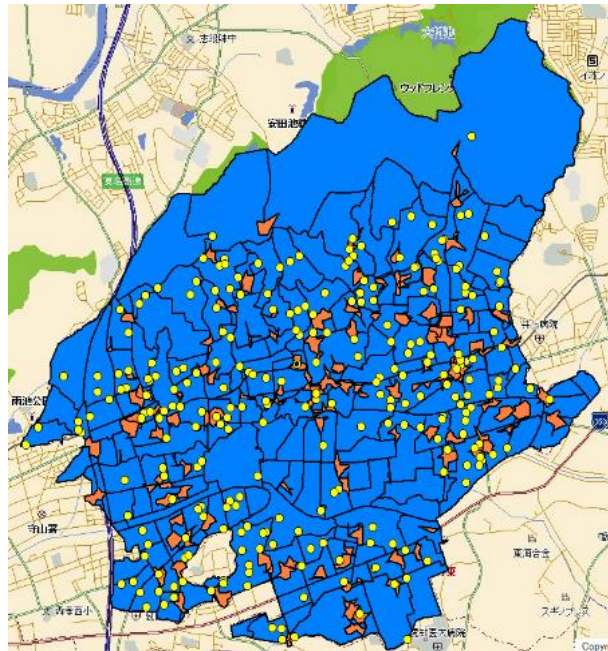


消防団分団車庫

スマホを活用したAED救命体制

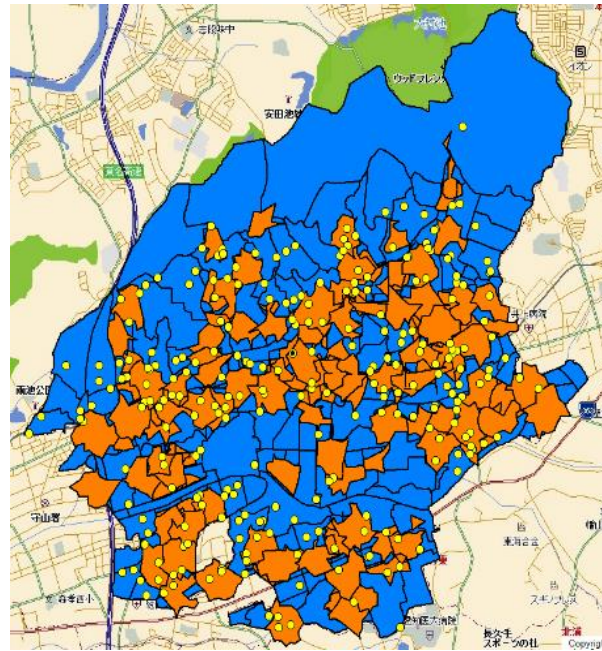
多くの心停止をカバー！

AEDから150m
(通常の活用範囲)



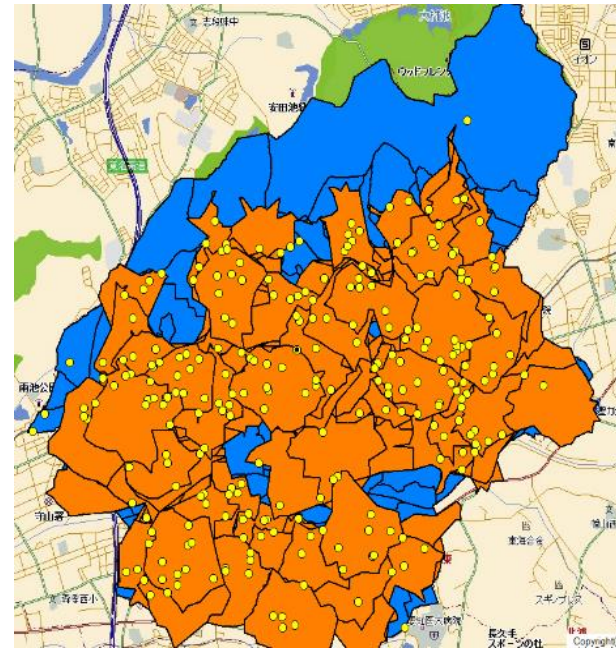
面積：1.37km²(8.5%)
心停止：35件 (**10.4%**)

AEDから300m圏内
(AED救命アプリ/徒歩)



6.80km² (32.3%)
16件 (**64.1%**)

AEDから600m圏内
(AED救命アプリ・車両)



14.36km² (68.3%)
327件 (**97.0%**)

事業内容

1. サポーターによる『今使える』AEDの情報整備と公開のロールモデルエリアでの推進
2. AEDの適切な管理と公開を促す認証制度の促進
3. 参加型のAED情報登録制度の普及と啓発イベントを通じた社会啓発



共有型AEDマップ「AED N@VI」事業概要

1. サポーターによる『今使える』AEDの情報整備と公開のロールモデルエリアにおける推進

情報更新



AEDサポーター



データ/システム共有

設置情報



自治体等

登録されたサポーターが、随時情報を更新していく新しいAEDマップ。市民の力で正確な情報を継続的に収集する。モデル地域として小規模都市（尾張旭市）、中規模都市×2（柏市＋1）、全国へと広げる

期待される成果

正確なAED設置情報の収集、AED設置情報の継続的な更新、救命システムの基盤として機能、市民参加型システムによる啓発

目標

- AED登録数 2,000台、登録ボランティア数 1,000人

2. AEDの適切な管理と公開を促す認証制度の促進

公的な使用を認めて情報公開（AED N@VIへの登録）を行い、一定の基準を満たす適切な管理を実施しているAEDを財団が認証する制度を進める

期待される成果

- AEDの管理水準の底上げ
- AED N@VIへの登録推進

目標

- 認証AED数 1,000台

3. 参加型のAED情報登録制度の普及と啓発イベントを通じた社会啓発

全国のステークホルダーを対象とし、院外心停止救命の取り組みを加速させる目的で例年開催しているAED推進フォーラムを、AED N@VIに焦点を当てて開催する

対象：ステークホルダー

期待される成果：全国各地への広い情報発信

目標：公募による参加者200人

使おう

AED N@vi事業、AED認証事業 見込み

	2019年	2020年	2021年	2022年	20XX
総AED設置数	600,000	700,000	700,000	800,000	1,000,000
新規AED販売数	90,000	100,000	100,000	120,000	150,000

AED N@VI	2019年	2020年	2021年	2022年	20XX
データ保有数	2,000	20,000	100,000	200,000	800,000
認証対象数	1,000	10,000	50,000	100,000	600,000
登録ボランティア数	1,000	10,000	30,000	60,000	100,000

